



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ワイズテーブルコーポレーション
コード番号 2798 URL <http://www.vstable.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 社長

(氏名) 金山 精三郎

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 武本 尚子

TEL 03-5412-0065

四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	7,026	4.2	62	△62.1	78	△62.0	△2	—
26年2月期第2四半期	6,743	0.7	165	△17.7	207	36.8	134	△30.4

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 3百万円 (△96.1%) 26年2月期第2四半期 96百万円 (△52.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	△0.90	—
26年2月期第2四半期	50.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年2月期第2四半期	5,820		1,080		18.4	402.27
26年2月期	5,193		1,077		20.5	401.00

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 1,070百万円 26年2月期 1,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,371	5.4	314	3.0	345	△19.2	159	△35.1	60.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年2月期2Q	2,660,900 株	26年2月期	2,660,900 株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	— 株	26年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年2月期2Q	2,660,900 株	26年2月期2Q	2,660,900 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通しは、当社が現時点において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策、経済政策等の効果もあり、緩やかな景気回復の動きが見られました。しかしながら、消費税率上げが個人の消費マインドに与える影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況です。

外食産業においては、食材価格の高騰や「食」の安全に対する社会的関心の更なる高まりに加え、人材確保の競争も一層激化するなど、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、直営店及びFC店による新規出店を積極的に推進してまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、カジュアルレストラングループは引き続き業績に貢献しましたが、店舗の開業及び改装にかかるコストを計上したこと、XEXグループの不振等により、売上高は7,026百万円（前年同期比4.2%増加）、営業利益は62百万円（同62.1%減少）、経常利益は78百万円（同62.0%減少）、四半期純損失は2百万円（前年同期は四半期純利益134百万円）になりました。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメントの状況は次の通りです。

①XEXグループ

「XEX」をはじめとする高級レストラン事業であるXEXグループについては、既存店舗の強化として、平成26年7月に「毛利 Salvatore Cuomo」の全面改装を行い、改装コストを計上いたしました。また、一部既存店舗が低調に推移したほか、平成25年4月に直営店「The Kitchen Salvatore Cuomo ROPPOINGI」、同年6月に直営店「LE CHOCOLAT DE H」を閉店したことにより両店舗の売上が剥落しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は2,413百万円（前年同期比6.1%減少）、営業利益は33百万円（同69.9%減少）となりました。また、店舗数は直営店11店舗、FC店2店舗となりました。

なお、平成26年8月より「XEX」5店舗のブライダル事業について株式会社エスクリと提携し、運営を委託しております。

②カジュアルレストラングループ

カジュアルレストラングループについては、直営店及びFC店の新規出店を進めてまいりました。直営店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 日本橋」及び「Crystal Jade Shanghai BAR 日本橋」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 新潟」、同年7月に「鉄板焼きとワイン AG 北新地」、「PIZZA SALVATORE CUOMO 三井アウトレットパーク木更津」及び「SALVATORE CUOMO & BAR 町田」を、FC店では、平成26年3月に「SALVATORE CUOMO & BAR 万座ビーチ」、同年4月に「SALVATORE CUOMO & BAR 柏の葉」を出店いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は4,610百万円（前年同期比10.5%増加）、営業利益は554百万円（同3.4%増加）となりました。また、店舗数は直営店41店舗、FC店34店舗となりました。

③その他

その他は、不動産賃貸事業等により構成されております。当第2四半期連結累計期間の同グループの売上高は3百万円（前年同期比4.7%増加）、営業損失は2百万円（前年同期は営業損失3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,744百万円となり、前連結会計年度末に比べ418百万円増加いたしました。これは主として、現金及び預金の増加361百万円等によるものです。固定資産は3,076百万円となり、前連結会計年度末に比べ208百万円増加いたしました。これは主として、建物の増加195百万円、敷金及び保証金の増加19百万円、のれんの減少21百万円、繰延税金資産の減少16百万円等によるものです。

この結果、総資産は5,820百万円となり、前連結会計年度末に比べ627百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は3,277百万円となり、前連結会計年度末に比べ672百万円増加いたしました。これは主として、買掛金の増加196百万円、短期借入金の増加260百万円、未払金の増加193百万円等によるものです。固定負債は1,462百万円となり、前連結会計年度末に比べ49百万円減少いたしました。これは主として、長期借入金の減少114百万円、繰延税金負債の増加24百万円、資産除去債務の増加17百万円等によるものです。

この結果、負債合計は4,739百万円となり、前連結会計年度末に比べ623百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,080百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加いたしました。これは主として、為替換算調整勘定の増加5百万円、四半期純損失の計上2百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は18.4%（前連結会計年度末は20.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、平成26年4月16日に公表いたしました平成27年2月期通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細については、平成26年10月8日に公表いたしました「平成27年2月期第2四半期連結累計期間及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,149,448	1,510,846
売掛金	550,406	614,880
原材料及び貯蔵品	252,857	258,205
繰延税金資産	147,620	143,921
その他	229,955	221,441
貸倒引当金	△4,560	△4,947
流動資産合計	2,325,729	2,744,347
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,684,075	1,879,320
その他(純額)	272,374	306,149
有形固定資産合計	1,956,450	2,185,469
無形固定資産		
のれん	267,671	246,257
その他	56,512	54,102
無形固定資産合計	324,183	300,360
投資その他の資産		
敷金及び保証金	561,325	580,744
繰延税金資産	16,281	—
その他	22,939	22,995
貸倒引当金	△13,345	△13,146
投資その他の資産合計	587,201	590,592
固定資産合計	2,867,835	3,076,422
資産合計	5,193,564	5,820,770
負債の部		
流動負債		
買掛金	609,866	805,868
短期借入金	874,224	1,134,570
未払金	697,109	890,260
未払法人税等	58,659	36,116
ポイント引当金	17,491	21,298
株主優待引当金	40,376	40,926
店舗閉鎖損失引当金	—	2,586
その他	307,192	346,089
流動負債合計	2,604,920	3,277,717
固定負債		
長期借入金	910,160	795,888
繰延税金負債	5,800	30,050

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産除去債務	431,102	448,486
その他	164,499	187,772
固定負債合計	1,511,562	1,462,197
負債合計	4,116,482	4,739,915
純資産の部		
株主資本		
資本金	830,375	830,375
資本剰余金	898,683	898,683
利益剰余金	△516,448	△518,840
株主資本合計	1,212,609	1,210,218
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9	11
為替換算調整勘定	△145,588	△139,842
その他の包括利益累計額合計	△145,578	△139,830
少数株主持分	10,050	10,467
純資産合計	1,077,081	1,080,855
負債純資産合計	5,193,564	5,820,770

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	6,743,341	7,026,817
売上原価	5,624,650	5,928,593
売上総利益	1,118,690	1,098,224
販売費及び一般管理費	※1 952,944	※1 1,035,475
営業利益	165,746	62,749
営業外収益		
受取利息	246	280
協賛金収入	12,983	26,156
補助金収入	—	10,000
為替差益	44,597	—
その他	11,843	10,666
営業外収益合計	69,671	47,103
営業外費用		
支払利息	21,625	21,848
支払手数料	4,761	—
為替差損	—	5,373
その他	1,735	3,817
営業外費用合計	28,122	31,039
経常利益	207,295	78,813
特別利益		
固定資産売却益	—	863
保険差益	1,693	—
特別利益合計	1,693	863
特別損失		
固定資産除却損	1,429	2,545
減損損失	2,985	12,341
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	383
店舗閉鎖損失	19,178	—
特別損失合計	23,594	15,269
税金等調整前四半期純利益	185,394	64,407
法人税、住民税及び事業税	26,021	21,669
法人税等調整額	24,364	44,231
法人税等合計	50,385	65,900
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	135,008	△1,493
少数株主利益	291	898
四半期純利益又は四半期純損失(△)	134,716	△2,391

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	135,008	△1,493
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3	1
為替換算調整勘定	△38,340	5,265
その他の包括利益合計	△38,337	5,267
四半期包括利益	96,671	3,773
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,379	3,356
少数株主に係る四半期包括利益	291	417

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	185,394	64,407
減価償却費	127,746	155,898
減損損失	2,985	12,341
のれん償却額	21,413	21,413
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△139	187
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	2,202	549
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	1,811	3,807
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△26,106	2,586
受取利息及び受取配当金	△249	△284
支払利息	21,625	21,848
為替差損益 (△は益)	△44,597	△999
固定資産売却損益 (△は益)	—	△863
固定資産除却損	1,429	2,545
保険差益	△1,693	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△57,714	△64,604
たな卸資産の増減額 (△は増加)	15,639	△5,887
前払費用の増減額 (△は増加)	7,651	△18,596
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,834	242,321
未払金の増減額 (△は減少)	46,009	104,800
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△15,832	37,746
その他	2,567	△16,095
小計	361,979	563,122
利息及び配当金の受取額	273	283
利息の支払額	△22,385	△21,646
保険金の受取額	1,693	—
法人税等の支払額	△16,029	△40,923
営業活動によるキャッシュ・フロー	325,530	500,836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△97,380	△245,749
有形固定資産の売却による収入	1,324	952
無形固定資産の取得による支出	△2,612	△2,321
貸付金の回収による収入	181	190
資産除去債務の履行による支出	△6,787	—
敷金及び保証金の差入による支出	△27,584	△21,196
敷金及び保証金の回収による収入	26,335	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,524	△268,065
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100,000	155,986
長期借入れによる収入	430,000	420,000
長期借入金の返済による支出	△273,600	△429,912
リース債務の返済による支出	△13,746	△14,448
財務活動によるキャッシュ・フロー	242,653	131,625
現金及び現金同等物に係る換算差額	33,808	△2,998
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	495,467	361,397
現金及び現金同等物の期首残高	603,206	1,149,448
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 1,098,674	※1 1,510,846

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,569,652	4,170,457	6,740,109	3,231	6,743,341	—	6,743,341
セグメント間の内部 売上高又は振替高	788	16,261	17,049	—	17,049	△17,049	—
計	2,570,440	4,186,719	6,757,159	3,231	6,760,391	△17,049	6,743,341
セグメント利益 又は損失(△)	110,089	536,520	646,610	△3,647	642,962	△477,216	165,746

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△477,216千円には、セグメント間取引消去額514千円、各セグメントに配分していない全社費用△477,730千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

金額的重要性が低いため、記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	XEX グループ	カジュアル レストラン グループ	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,413,179	4,610,256	7,023,435	3,382	7,026,817	—	7,026,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,413,179	4,610,256	7,023,435	3,382	7,026,817	—	7,026,817
セグメント利益 又は損失(△)	33,101	554,688	587,789	△2,593	585,196	△522,447	62,749

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

- 2 セグメント利益又は損失の調整額△522,447千円には、セグメント間取引消去額1,730千円、各セグメントに配分していない全社費用△524,178千円を含んでおります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
- 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
金額的重要性が低いため、記載を省略しております。